



第56号

令和元年6月20日

安全・適正就業だより

☆☆☆☆ 事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな（全国統一スローガン）☆☆☆☆

全シ協 7月は「安全・適正就業強化月間」です

少子高齢化が進展し、長期人口減少傾向の過程に入っていることから、今後、ますます高齢者の労働力としての拡大が強く求められ、シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きくなってきている。このような中、平成30年度の重篤事故は、就業中・就業途上ともに前年度を大きく上回った。平成29年度の46件を更に上回って53件となり、センターとして緊急に安全対策を講じ、事故をなくす取り組みを実施する必要がある。

全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）では、毎年7月1日～7月31日を「安全・適正就業月間」と定め、事故防止の徹底を図っている。

秩父市シルバー人材センター

当シルバー人材センター安全・適正就業委員会も7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全と適正就業に対する意識を高める機会として、「安全に安心して働けるセンター」を目指していくことになりました。

昨年度、秩父市シルバー内でも一件の重篤事故（一カ月以上の入院）が発生しました。この機会に、もう一度安全基準等を確認して事故を起こさないように注意しましょう。

秩父市シルバー人材センター安全就業基準（抜粋）

（安全心得）

第6条 会員は、就業にあたっては、次の安全心得を守り、作業に従事しなければならぬ

- (1) 作業は安全第一を心がけ、急いだり、あわてたりしないこと。
- (2) 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- (3) 服装・履物は、作業に合った動きやすいものにする。
- (4) 作業前には、軽い準備運動をして体をほぐすこと。
- (5) 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと。**
- (6) 作業現場は、常に整理整頓に心掛けること。
- (7) 共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと。
- (8) 酒気を帯びての就業は、絶対につつしむこと。
- (9) 健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。
- (10) 仕事の前日は、十分睡眠をとるように心がけること。

シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、社会に貢献していくことを目的とし、仕事は「安全第一」です。

「草刈り取扱い安全講習会」開催される

草刈り機を使用して草刈り業務を行う会員さんを対象に、下記のとおり開催しました。

- 内容
- 1 平成30年度の事故発生状況及び安全基準などについて
 - 2 令和元年度草刈り作業事故防止について
 - 3 ヒヤリハット体験などについて意見交換
 - 4 石の飛びにくい草刈り機「カルマー」の紹介

※第1回～3回は同じ内容です。

第1回 5月10日 (秩父市福祉女性会館) 参加者78名

意見

- 1 飛び石防止シートを他人の車にかける際は、事前に必ず了解を得る
- 2 班長に頼りすぎず、班員がお互いに注意し合う
- 3 ハチに注意する(会員から、実際に刺された時の応急措置器具の見本提供などあり)
- 4 学校の草刈り作業の時は、特に児童が寄ってくるがあるので注意する必要がある
- 5 石はどの方向にも飛ぶ可能性がある



第2回 5月12日 (吉田やまなみ会館) 参加者21名

意見

- 1 ハチ被害防止、ヘビ被害防止について
- 2 飛び石防止ネットについて
(特に大きなネットの場合、風対策が必要)
- 3 暑い時期の作業(熱中症対策)について



第3回 5月20日 (秩父市福祉女性会館) 参加者18名

会場をコの字型に作り、お互いに参加者が顔を見ながら意見が言えるようにした。

意見

- 1 刈払機に草が絡まった時、エンジンを止めないで草を取った。
- 2 斜面を刈る時は、滑らないようにスパイクの付いた靴を着用する。
- 3 現場の状況に応じて刃を変える
- 4 学校の草刈りの時は、特に児童の近づきに注意する
- 5 暑さ対策について



新人及び希望者の実地講習 5月27日 (みどりヶ丘工業団地) 参加者4名

暑い中、草刈機、鎌の使用についての説明の後、加藤氏から草刈り見本を見せてもらい、約1時間の実地練習を行った。

安全・適正就業だより

熱中症予防のために

5月には、北海道で38度という記録的な暑さで早くも猛暑日となった令和元年の始まり。この先、どうなってしまうのかと心配です。次のことを参考に熱中症にご注意下さい。

1 暑さを避ける

- ・外出時（就業）は、帽子の着用など日除け対策を十分に行う。
- ・休憩は日陰を利用しこまめにとる。
- ・通気性の良い吸湿性速乾性のある衣服を着用する。

2 こまめに水分を補給する

のどの渴きを感じなくても、こまめに水分・塩分・経口補給液などを補給する。

3 熱中症が疑われる人を見たら

- ・風通しのよい日陰やエアコンの効いた部屋など、涼しい場所に避難させる
- ・衣類をゆるめ、体を冷やす。（特に首の回り、腋の下・足の付け根など）
- ・水分・塩分・経口補給液などを補給する。

※ 自分で水が飲めない、意識がない場合は すぐに救急車を呼びましょう。



.....
本庄市シルバーでは、暑い時期（～8月末日まで）、主に除草作業、植木作業などの外仕事をする会員を対象に、お客様と十分な打ち合わせを行った上でということ、次のような協力要請を行っている。

- 1 予報で気温が35度を超える場合は午後の作業はしない。
- 2 38度を超える場合はその日の作業自体を中止する。
- 3 始業時間を早めるなどして、気温が低い時間に作業をする。
- 4 自己防衛
 - ・普段より増して十分な食事や良質な睡眠をとる。
 - ・塩分・ミネラルを含んだ水分をこまめにとる。

シルバーの就業は、月に10日程度以内、週におおむね20時間を超えないものとされています。特に、暑い時期は疲労が蓄積しやすいので、十分な休憩・休養をとって就業しましょう。



.....
秩父市野坂町1-13-14
秩父市シルバー人材センター

電話 0494-22-4454
安全・適正就業委員会